

令和元年11月18日

令和元年台風第19号による排水樋管周辺地域
における浸水被害について

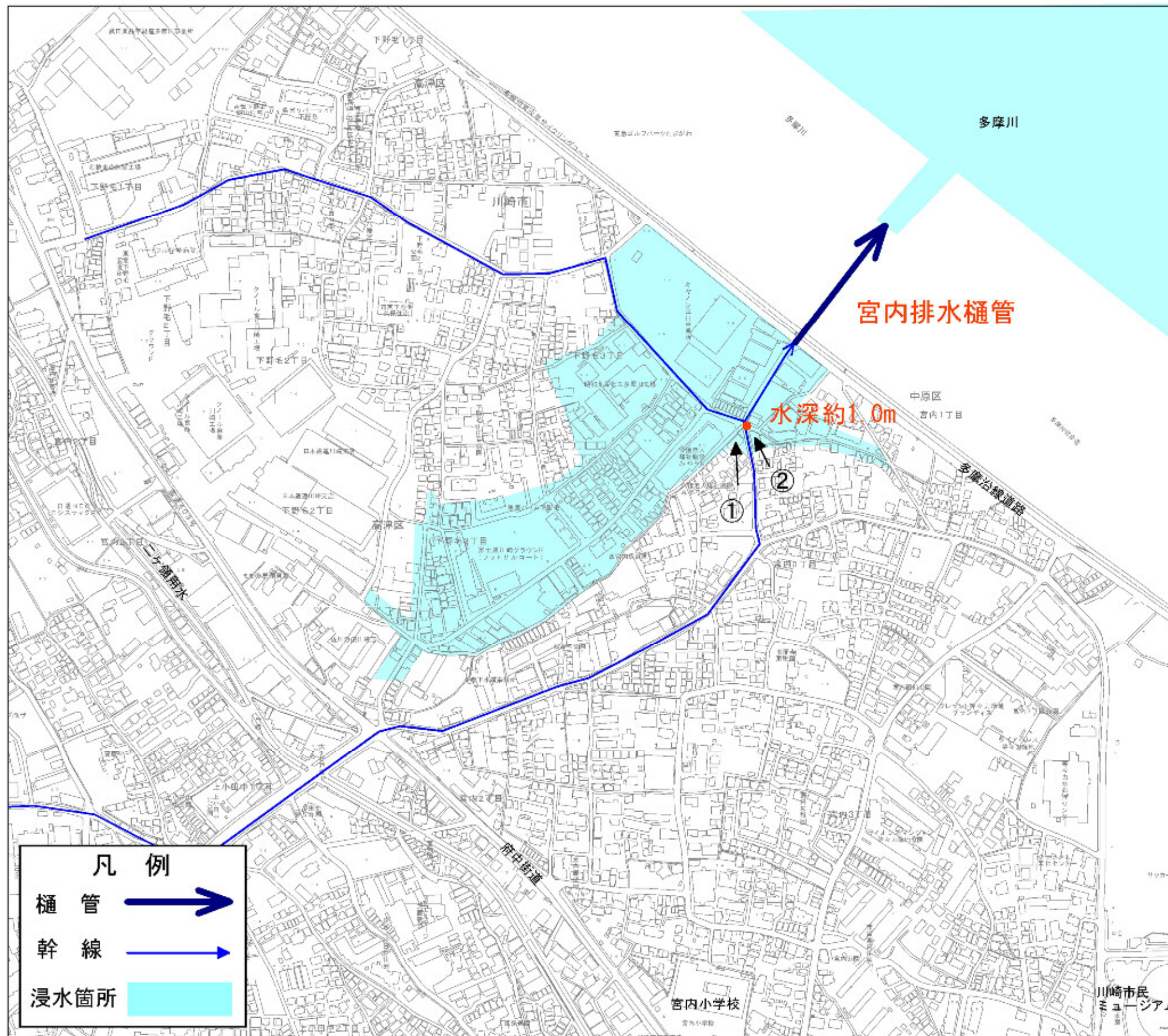
(宮内排水樋管)

川崎市上下水道局

令和元年 台風第19号による排水樋管周辺地域における 浸水被害の概要について



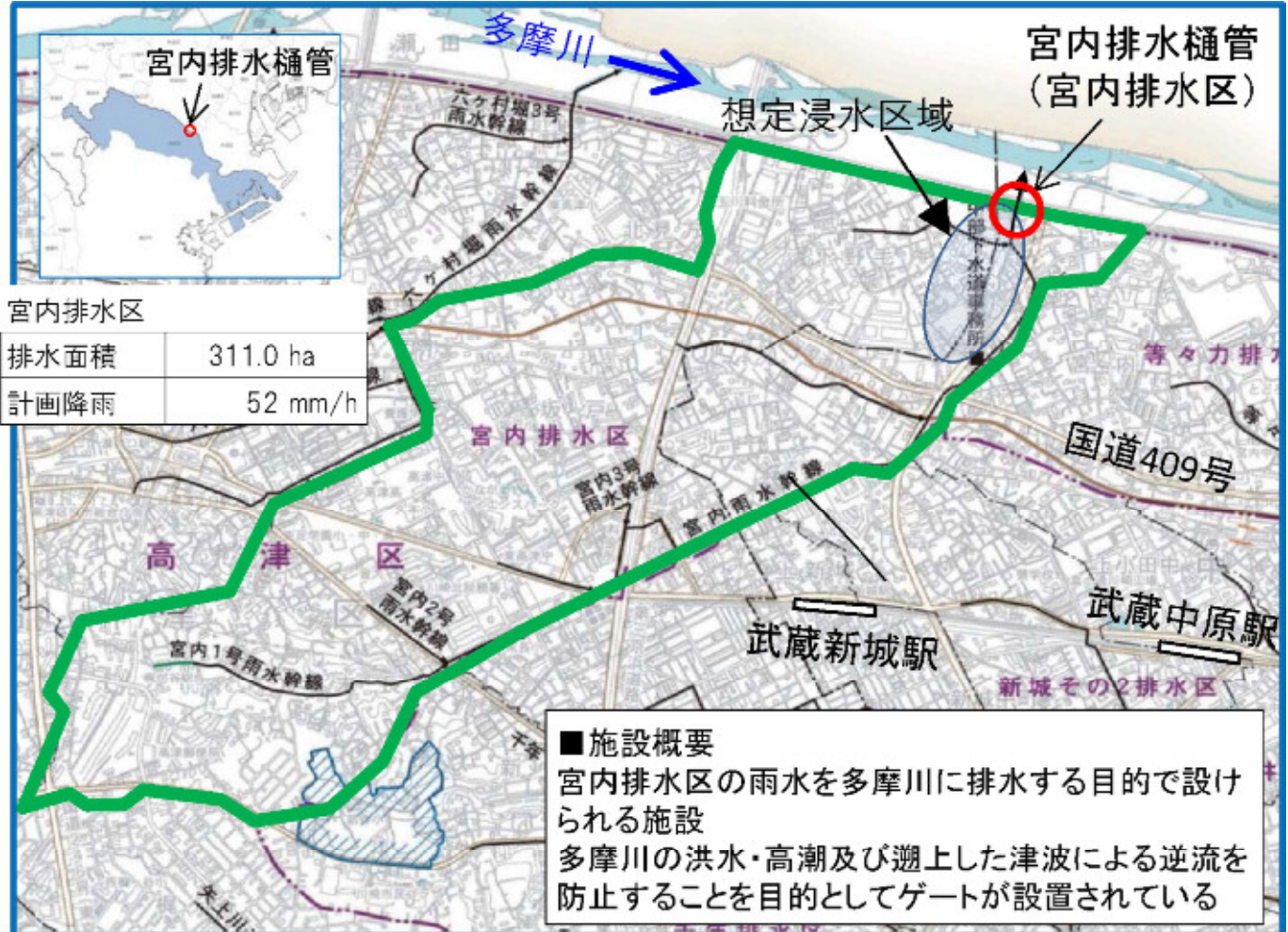
宮内排水樋管



想定浸水面積
約 1.1 ha

宮内排水樋管における令和元年台風第19号の災害(浸水)対応について

<宮内排水樋管案内図>



全景写真1



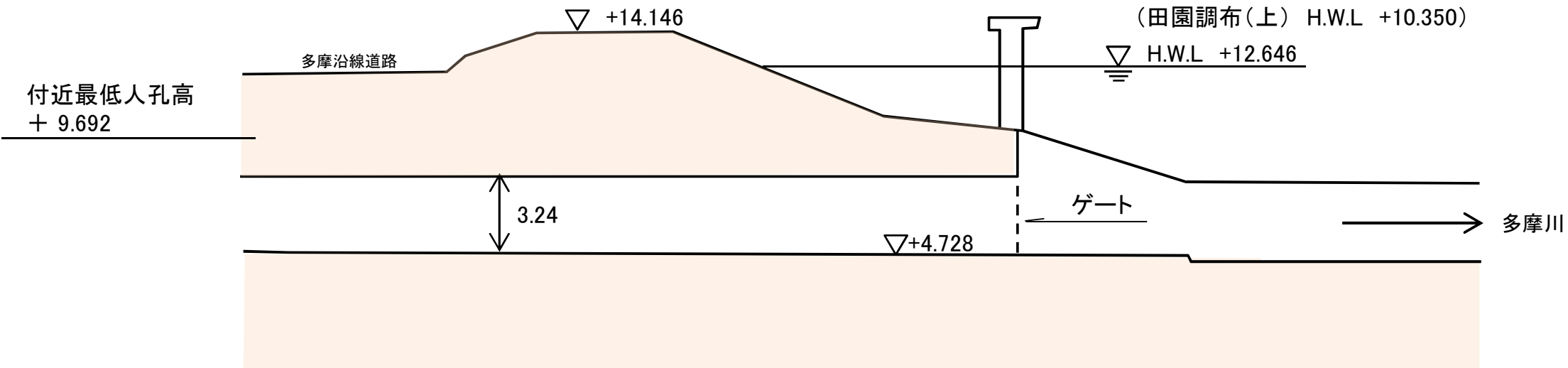
全景写真2



樋管ゲート写真



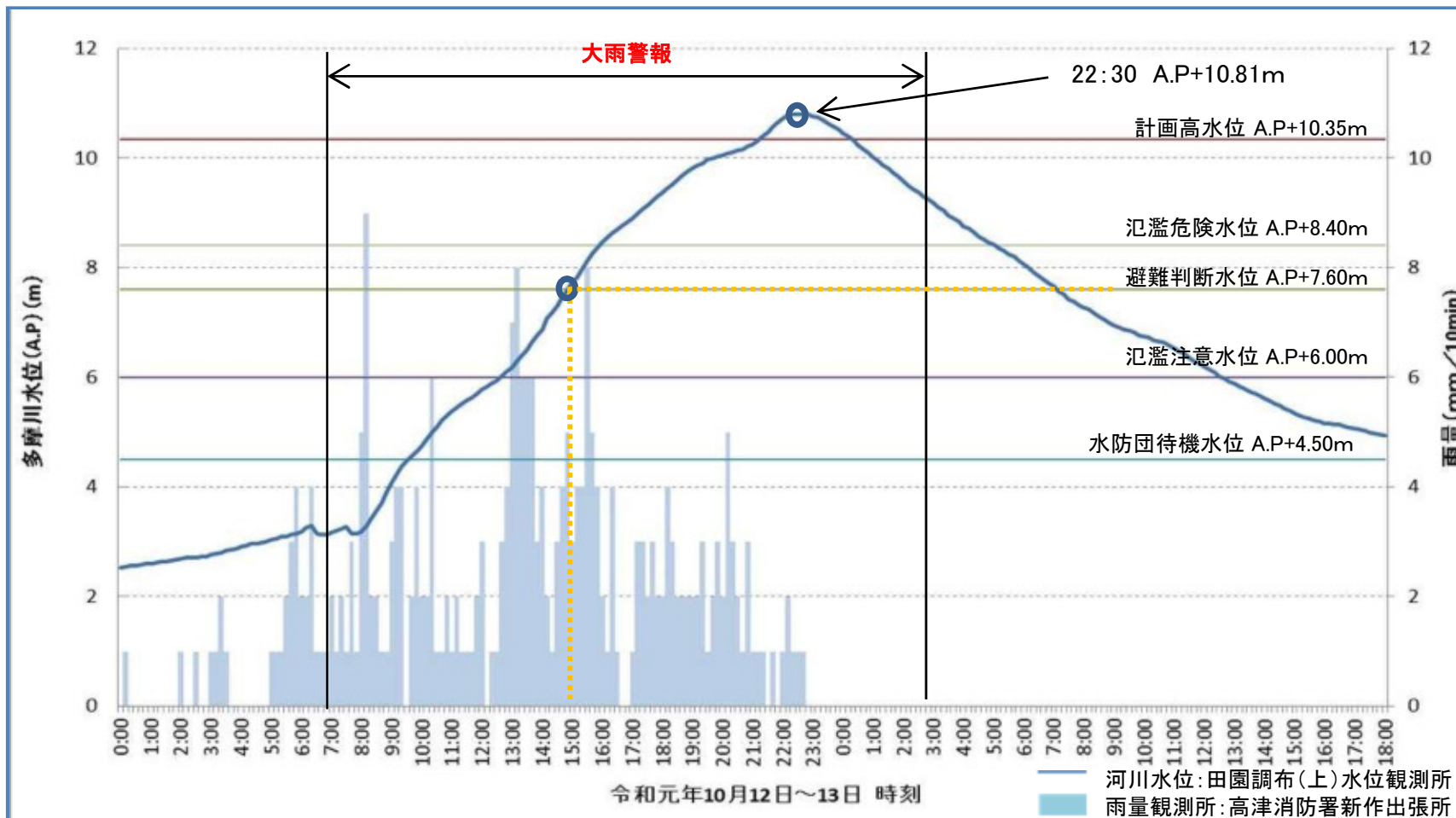
<宮内排水樋管縦断図>



宮内排水樋管における令和元年台風第19号の災害(浸水)対応について

<宮内排水樋管について>

- 宮内排水樋管は、操作手順に従いゲート进行操作
 - 多摩川水位が上昇し、浸水被害の恐れがある場合、宮内排水樋管ゲートの閉鎖の判断を行う
 - ・田園調布(上)水位観測所の河川水位A.P+7.60m(避難判断水位)において、周辺の状況を踏まえ、ゲートの開閉を総合的に判断
 - ・降雨がある場合や、大雨警報が発令されている等、降雨の恐れがある場合は、宮内排水樋管ゲートを全開にする



【活動記録(10月12日～13日)】

12日

- 14:05 パトロール開始
- 15:00 田園調布(上)水位観測所の避難判断水位A.P+7.60m超えを確認し、総合的に判断してゲート閉鎖を行わず
- 23:10 降雨の恐れがなくなったが、多摩川の水位が下降していることからゲートを閉めないことを判断

13日

- 15:00 樋管の土砂堆積状況の確認を実施

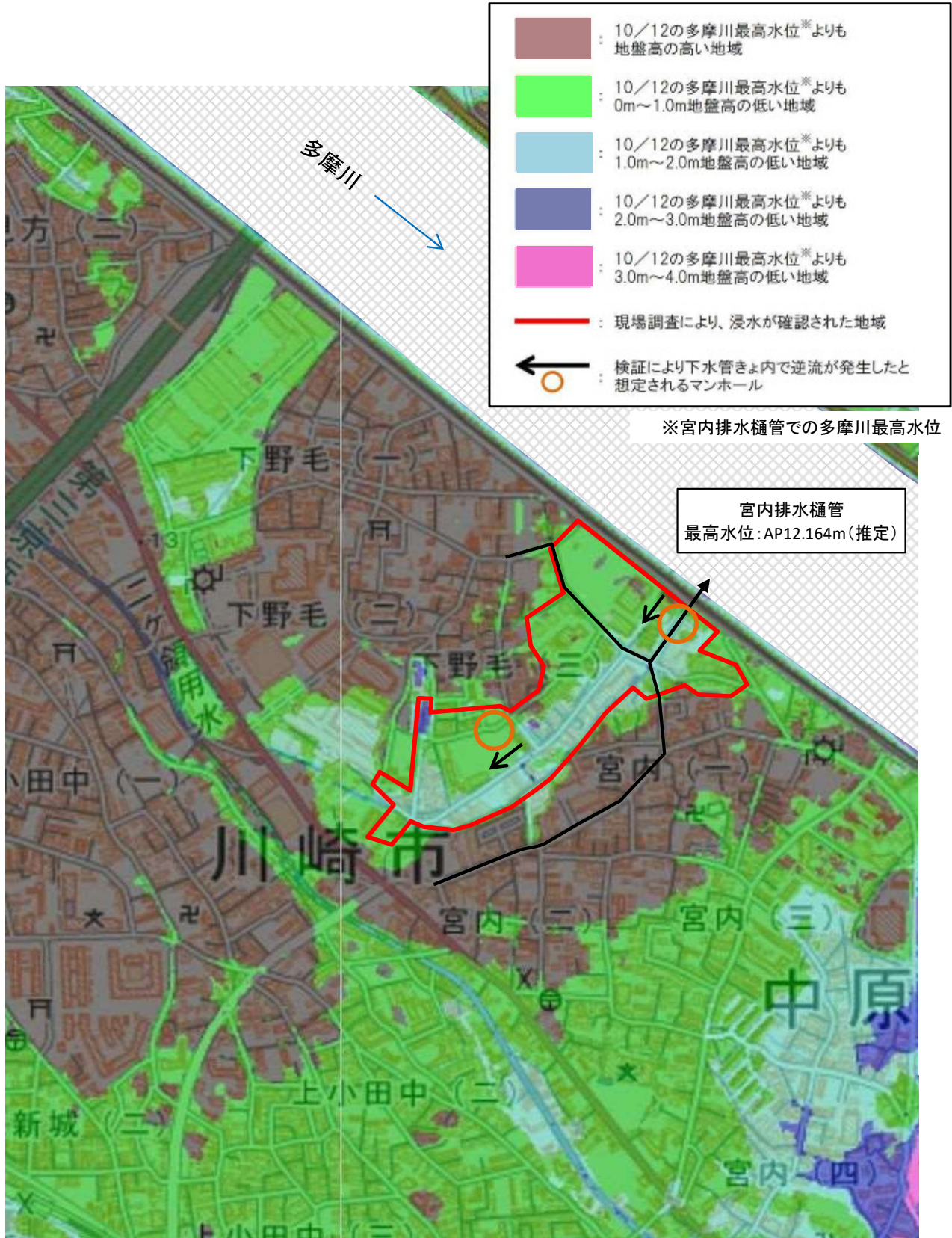
<浸水の原因について>

- 浸水原因については、既往最高水位を超える多摩川の高水位があったことや、土砂堆積の状況から、河川水の逆流によるものと考えている

<今後について>

- 浸水メカニズム及び樋管ゲート操作に関する検証を進め、同様な事態に遭遇しても、被害を最小化できる方策を検討する

宮内排水樋管周辺地域の地盤高図と浸水範囲



出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)
 ※色別標高図を加工して作成

浸水原因について:

宮内排水樋管における10/12の多摩川最高水位(推定AP12.164m)よりも地盤高さの低い地域で浸水が発生している。また、下水管きょ内で逆流の発生が確認される。さらに、浸水が発生した地域での土砂堆積状況からも、河川水の逆流による浸水が発生したものと考えている。